



町長室だより

築上町長 新川 久三



秋の日はつるべ落としと言い、日増しに暗くなるのが早くなってきました。冬至まで二か月を切りました。

船迫窯跡公園 秋の企画展

今月は築上町の偉人をご紹介します。現在、船迫窯跡公園で「医は仁なり内野東庵展」を催しています。

築上町本庄出身の内野東庵は、医者の父の後を継ぐため、9歳で越路村の医師三嶋雄山に弟子入りし、医者を目指しました。独立後は雄山の娘を妻にして、医業に専念しながら、地域の人と共に町の発展に大いに尽くされました。

そのいくつかを紹介すると、氷室の建設を完成させたことが挙げられます。この氷室は、冬に降った雪を村人の協力で雪穴に入れ、踏み固めて夏まで保存したものです。これを熱さましの水として患者の治療用や村人にも自由に開放したとのことで、この氷室は現在、町指定の文化財として保存しています。

次に、萱切隧道の完成が挙げられます。当時犀川の横瀬に行くには急峻な峠道しかなく、困っている人々のためにトンネル掘削を思い立ち、私財を投じて完成させました。

天徳寺は宇都宮家の菩提寺で、宇都宮家滅亡後は、小笠原藩の後ろ盾で堂宇の維持をしていましたが、明治になつてからは政府の後ろ盾もなく、堂宇は傷み、改修の目途もないところに、内野東庵、久良知重敏、加来彦次郎の3氏が発起し、再建資金を募ることもしています。天徳寺の門徒はもとより宇都宮家有縁の方々に「天徳寺堂宇再興募縁疏」の趣意書を作成して資金を集めました。東庵は門徒の一員でもあり、当方で30円の寄付をしています。今月28日まで企画展を開催しています。ぜひ、船迫窯跡公園までお越しください。

広域圏の業務分割

京築広域市町村圏事務組合（以下、

広域圏）は現在、京築広域圏消防業務と行橋京都メデイカルセンター業務を行っており、この2つを分けた一部事務組合にするため、行橋市、苅田町、みやこ町で新たにメデイカル組合を設立することは先月お伝えしました。広域圏規約の改正を加盟市町の議会に付して、すべての議会で可決したので、規約改正を来年の4月1日に施行することになりました。広域圏業務からメデイカル業務を除外し、行橋市、苅田町の広域圏脱退が承認されました。

来年4月1日からは、広域圏の業務は消防業務のみで、加盟は従前のおとし、豊前市、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町の5自治体です。

メデイカル組合は、来年4月1日に、行橋市、苅田町、みやこ町で新しく一部事務組合を組織して運営することになります。

ただ今、福岡県への広域圏規約改正と、新たな一部事務組合の認可申請手続き中です。

ますます向寒の候となっております。町民の皆様には、ご自愛いただきながら健康に留意してください。